

プラットフォーム構築の知識と育むべき人材を解説 京都大学発！「プラットフォーム学」発売

国内企業の利活用事例、340社以上の取材をもとに日本の課題と展望を分析

株式会社角川アスキー総合研究所（本社：東京都文京区、代表取締役社長：加瀬典子）は、書籍「プラットフォーム学」を、2024年6月27日（木）に発売します。



■京都大学発の新しい学問体系「プラットフォーム学」をまとめた一冊

本書は、京都大学のプラットフォーム学卓越大学院プログラムで進められている新しい学問体系「プラットフォーム学」のカリキュラムとともに、プラットフォームに求められる基盤技術、応用技術を紹介。国内企業のプラットフォーム利活用事例や340社以上の取材、同プログラム修了生・履修生の取り組み例を通して、プラットフォームの構築に必要な知識が得られるだけでなく、日本におけるプラットフォームの課題と展望がわかる一冊となっています。

■国内・主要プラットフォームを図解。プラットフォーム構築に必要な知識、人材がわかる！

「プラットフォーム学」を扱う世界初の大学院、京都大学プラットフォーム学卓越大学院ではどのように授業をつくり、プラットフォーム構築者を育てているのか。プラットフォームに必要な要素は何か。京都大学総長や教授、プラットフォーム提供企業を取材。

■約9割の企業がプラットフォームに関心

独自のアンケートを実施した結果、約9割の企業がプラットフォームに関心があった。デジタル技術が日常生活や仕事の現場で不可欠になっている今、プラットフォームの共存・協調、意識の広がりなどについて考察しています。

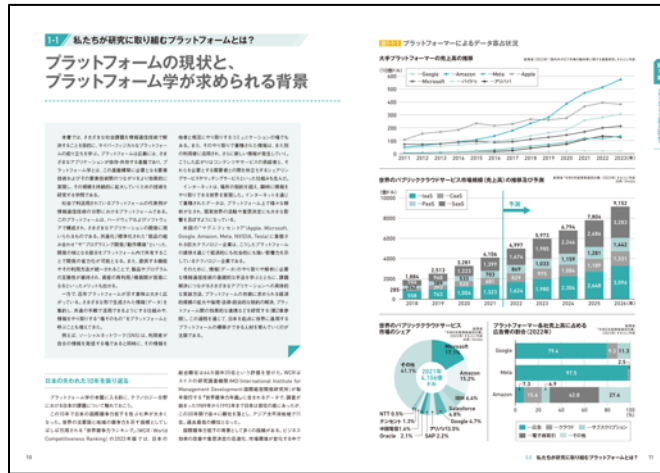
■目次

湊長博 京都大学総長インタビュー

「世の中を良くする」という高い志で切り拓く 京都大学ならではの「プラットフォーム学」

第1章 プラットフォーム学とは何か

- 1-1 私たちが研究に取り組むプラットフォームとは？
- 1-2 プラットフォーム学のツールとアプリケーション
- 1-3 プラットフォーム学のフィロソフィー
- 1-4 プラットフォームの進化
- 1-5 プラットフォーム学の取り組むべき課題

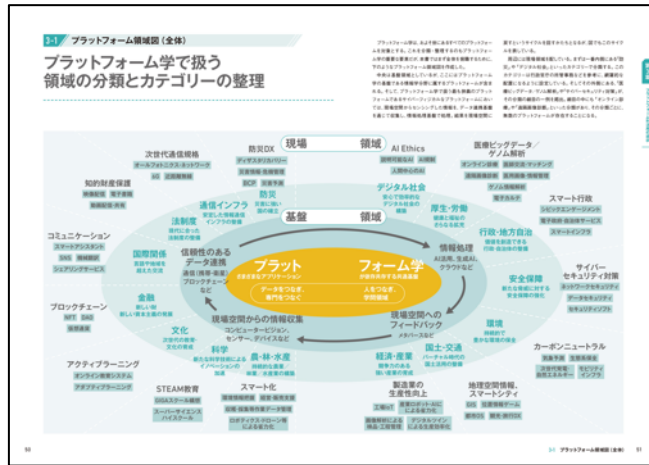


第2章 プラットフォームの要素技術

- 2-1 サイバーフィジカルなプラットフォームの構成要素とは？
- 2-2 プラットフォームを構築する基盤技術
 - ①機械学習とプラットフォーム
 - ②数理工学とプラットフォーム
 - ③情報通信システムとプラットフォーム
- 2-3 プラットフォームの応用に役立つ技術
 - ①AI で見る
 - ②音声対話とプラットフォーム

第3章 プラットフォーム利活用の現状

- 3-1 プラットフォーム領域図 (全体)
 - 3-2 基盤領域 (情報通信分野) のプラットフォーム地図
 - 情報通信分野におけるプラットフォーム利活用事例①KDDI 株式会社
 - 情報通信分野におけるプラットフォーム利活用事例②クラスター株式会社
 - 3-3 農・林・水産分野のプラットフォーム地図
 - 農・林・水産分野におけるプラットフォーム利活用事例①ヤンマーアグリ株式会社
 - 農・林・水産分野におけるプラットフォーム利活用事例②株式会社クボタ
 - 農・林・水産分野におけるプラットフォーム利活用事例③オプティム株式会社
 - 農・林・水産分野におけるプラットフォーム利活用事例④株式会社東京チェーンソーズ
 - 農・林・水産分野におけるプラットフォーム利活用事例⑤古野電気株式会社
 - 3-4 厚生・労働分野のプラットフォーム地図
 - 厚生・労働分野におけるプラットフォーム利活用事例①メロディ・インターナショナル株式会社
 - 厚生・労働分野におけるプラットフォーム利活用事例②株式会社 Zene
 - 3-5 経済・産業分野のプラットフォーム地図
 - 経済・産業分野におけるプラットフォーム利活用事例①日本アイ・ビー・エム株式会社
 - 経済・産業分野におけるプラットフォーム利活用事例②株式会社エイアイキューブ
 - 3-6 プラットフォーム領域図の構造
 - 多彩なサービス領域におけるプラットフォーム利活用事例①株式会社ウェザーニューズ
 - 多彩なサービス領域におけるプラットフォーム利活用事例②株式会社 JTB
 - 多彩なサービス領域におけるプラットフォーム利活用事例③東映株式会社
- プラットフォーム学の講義から：ゼットラボに学ぶプラットフォームのつくり方



第4章 プラットフォームに求められていること

4-1 約 340 社取材から見えたプラットフォーム化への課題

4-2 企業が次世代プラットフォーム普及に感じている課題

- ①株式会社 ABEJA
- ②楽天グループ株式会社
- ③東芝デジタルソリューションズ株式会社
- ④コニカミノルタ株式会社
- ⑤株式会社リコー
- ⑥サイボウズ株式会社
- ⑦MODE,inc.
- ⑧株式会社紀伊國屋書店
- ⑨デロイト トーマツ グループ
- ⑩株式会社クラッセキャピタルパートナーズ
- ⑪株式会社アクセストレードセンター

現在から未来へ：有識者と履修生の対話を通じて、プラットフォームを考える

The page contains the following elements:

- Section 4-1:** 約340社取材から見えたプラットフォーム化への課題 (Challenges seen from interviewing about 340 companies regarding platformization).
- Section 4-2:** プラットフォームに関心があるのは9割弱 (About 90% are interested in platforms).
- Text:** Detailed analysis of the challenges companies face in platformization, including organizational and technical hurdles.
- Photos:** Images of industry events and conferences.
- Table:** Japan IT Week 2024で人気を集めた講演内容 (Popular lecture content at Japan IT Week 2024). The table lists speakers, topics, and dates.

第5章 プラットフォーム学の展望

5-1 プラットフォーム学卓越大学院の概要

プラットフォーム学修了生に聞く：プラットフォーム学で得たもの、プラットフォーム学を通じて考えたこと

5-2 日本発プラットフォームの可能性

プラットフォーム学対談：日本におけるプラットフォームの未来／原田博司（京都大学プラットフォーム学卓越大学院プログラムコーディネーター、京都大学大学院情報学研究科情報学専攻教授）、福田 正（株式会社角川アスキー総合研究所取締役ファウンダー、一般財団法人 UPDATE EARTH 理事長）

Appendix

- ・プラットフォーム学履修生の研究紹介（未来をつくる人たち）
- ・プラットフォーム学講義／連続セミナー
- ・プラットフォーム学関連年表

プラットフォーム学

編：原田博司（京都大学プラットフォーム学卓越大学院プログラムコーディネーター、京都大学大学院情報学研究科情報学専攻教授）

発行：株式会社角川アスキー総合研究

発売：株式会社 KADOKAWA

発売日：2024年6月27日

ISBN：978-4-04-911141-5

定価：3,500円（税込3,850円）

サイズ：A4、192ページ

株式会社角川アスキー総合研究所について

角川アスキー総合研究所は、メディア運営やコンテンツ制作で培った知見を活かし、調査、コンサルティング、マーケティング、ビジネスソリューション、出版、教育支援など幅広く事業を展開しています。コンテンツ力、メディア力、リサーチ力を総合的に活用し、お客様の課題解決に取り組みます。

公式サイト：<https://www.lab-kadokawa.com/>

【本件に関する報道関係からのお問い合わせ】

株式会社角川アスキー総合研究所 広報担当 堀

press-cp@lab-kadokawa.com